

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 6番 田 口 寿 宜

平成 25年 8月 20日

午前・午後 9時45分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 自然災害と防災</p> <p>自然の猛威による豪雨が様々な被害をもたらした8月9日。土石流により6名の方々が尊い命を奪われ、多くの方々が被災された。私達は、自然災害と隣り合わせに生業を営んでいるが、どんな災害が起きても自らの命は自らで守る「自助」の意識を常に持ち、その上で「共助」という、みんなで助け合いながら困難を乗り越える意識を持ち行動しなければならない。</p> <p>犠牲になられた6名の方々、そして、被災された多くの方々の思いを無駄にする事無く、復旧・復興に向けて邁進し、今後いかなる災害が起きても、市民が安全にしっかりと進んで行けるまちを構築して行く事が求められている。このような観点から次の事項について伺う。</p> <p>(1) 関係機関と連携を図り、今一度、早期に危険箇所の総点検を実施し、その結果を市民と共有し、「自助」「共助」の意識を醸成する環境の整備をしっかりと行うべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 災害時における避難所設営・運営及び復旧ボランティア等、民間団体との協働が必要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 災害に遭われた方々の生活再建および集落再生に向けた今後の具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>(4) いかなる災害がいつ起こるかわからない昨今、防災に対する全ての意識を全市民が共有するうえでも、仙北市防災週間を制定するべきと考えるがどうか。</p> <p>2. 観光振興</p> <p>今年から来年にかけて、種苗交換会やディスティネーションキャンペーン、国民文化祭など交流人口が増加する絶好の機会を迎えているが、正直、盛り上がり欠けているような感がある。多くのお客様を呼び込み、リピーターを増やすうえでも工夫を凝らした手法を取り入れていくべきと考えるがどうか。</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 14番 伊藤 邦彦

平成 25年 8月 20日

午前・午後 11時53分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 田沢湖再生プロジェクトについて</p> <p>(1) 今年6月に示された素案によれば、この12月議会に予算計上していると しているが、その進捗状況を伺いたい。</p> <p>(2) 「湖岸の崩落改修を県に要望する」とあるが、御座の石の鳥居が立つ石 畳の崩落が進んでいる。後何年かで、鳥居も湖底に沈む事を危惧する。 その箇所こそが急を要すると思うが・・・</p> <p>(3) 湖岸の崩落改修と合わせて、樹木の整理をし、視界を確保すべきと思 うが、伺いたい。</p> <p>(4) 湖畔の瀉尻集落駐車場不備のため、住民が日常的に迷惑と危険を感じ ている。 地域からも要望が出ているはず。対策は進んでいるか。</p> <p>2. クリオン温水プールの建設は・・・</p> <p>(1) 市マスタープランには、その必要性を示されてはいる。市内小・中11 校、共同利用、多くの高齢者が膝に腰にと痛みを訴えている。夏に冬に 健康づくりに活用できる。広域的利用もあるだろう。 利用収入も見込める。合併して8年にもなる今、なぜ前進を見ない・・・ 児童・生徒の利活用、市民の健康づくり、それ等を正しくとらえてい るか、伺いたい。</p> <p>(2) 合わせて、関連があるので、バイオ発電の状況もお知らせ願いたい。</p> <p>3. 西明寺中学校・桧木内中学校の統合はいつ！！</p> <p>(1) 以前の同じ質問では、「今後の生徒数の減少は、落ち着くものと思われ る」「少人数が先生が目がいき届き、良い子が育つ・・・」の答弁をいた だいている。教育長のおっしゃる「良い子」とは、どの様な子を示すの か・・・</p> <p>(2) 部活の構成もままならない今、競う力・耐える力・協調する力・等々 が育まれるのか・・・</p> <p>(3) 素直で優しく頭脳がよければ、たくましく人生を送れるのか、お伺い したい。</p>			

4. 全県少年野球区割制について

大曲・仙北第2区は8校、全県最多である。男鹿は3校、1回勝てば全県だ。勝つ事がすべてではないとは言いが、仙北の生徒達の夢は遠い。教育は平等が原点なはず、その現状はとてもそうは思えないし、それに向けて労を費やしているとも思えない。行動を起こすべきだ！！

県の事だから、中体連の事だから・・・では、何も変わらない。

5. カヌー競技コースの復興計画は・・・

生保内川・玉川の合流地点にある、日本オリンピック委員会認定のカヌーコース、この度の豪雨により、大きく崩壊された。早い復興が待たれるが、その見通しを伺いたい。

上記のとおり通告します。

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 17番 田 口 喜 義

平成 25年 8月 20日

午前・午後 9時20分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1 仙北市の災害危機管理について</p> <p>(1) 東日本大震災を教訓に平成23年11月地域防災計画にある災害応急対策の活動体制を見直している。 従来は、災害初動時における動員や集合する場所は、その時々的情勢に応じて対応していたが、見直し後には、あらかじめ動員する職員や集合場所を明確にし、速やかな初動体制の確立を図ることとしている。 この度の先達地区の土石流による土砂災害では、地域防災計画において見直された初動体制が活かされたのか？</p> <p>(2) 秋田地方気象台が仙北市に大雨洪水警報(08:32)を発し、鎧畑観測所では降雨量が観測史上最大となる1時間当たり88ミリを記録した。 県と秋田地方気象台は、仙北市に対して、土砂災害警戒情報(09:10)を発表し、これまで経験したことのないような大雨から「命を守る行動を取ってほしい」と警戒を呼び掛け(10:00)ている。 このような状況において、市は災害対策本部を設置して、土石流の発生前に避難勧告を発令し、犠牲者を出すことなく未然に防止できなかったのか？</p> <p>(3) 8月9日の豪雨により、国道46号は、生保内から雫石間が3日間通行止めとなり、秋田新幹線も秋田から盛岡間が同じく3日間運休している。 この影響により、観光客や帰省される方々、または仕事や病院などに通っている方々は、足止めされ、大きな混乱を受けた。仙北市民の生活はもとより市の産業全体に大きな打撃を受けたことは言うまでもない。 このことに対する市としての今後の対応と対策は？</p> <p>(4) 7月22日の火災発生時において、119番通報から災害発生時の連絡系統図により、各部署へ速やかに伝達され、出動されたと思うが、火災発生時から防災無線(サイレン)による消防団の招集や市民への周知は、どのように行われていたのか？</p>			

2 秋田県種苗交換会の主会場の駐車場として整備が進められている武蔵野中央地区公共用地のその後の活用について

武蔵野中央地区（約 30,000 m²）を取得し、幼稚園と保育所とが一体となった施設の建設や、市民の健康増進を図る浴場施設の建設は既に完了している。

今後は、老朽化した生保内体育館を建て替え、屋内競技ができる各機能を配した観覧席付の総合体育館の整備が望まれる。この総合体育館には、市民会館と連動した各種会議やイベントの開催できる機能や、公民館の役割も備えた生涯学習センターとしての機能をも含まれることが理想である。

加えて、頻繁に発生する災害等に備えた 1 千人規模の避難所としての機能も取り入れた「総合多目的エリア」としての活用はできないか？

上記のとおり通告します。

番 号 4

平成25年 8月20日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 15番 青柳 宗五郎

平成 25年 8月 20日

午前・午後 10時57分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
<p>観光振興について</p> <ol style="list-style-type: none">1. 観光客を増やす対策2. 観光地として 将来に向かってどう進むのか			
上記のとおり通告します。			

仙北市議会議長 佐藤 峯夫 様

仙北市議会議員 10番 小田嶋 忠

平成 25年 8月 20日

午前・午後 8時30分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1、 地域運営体について伺う。</p> <p>(1) 地域運営体とは何か。</p> <p>(2) 財源は当初一般財源で対応すると説明を受けていたが、現在過疎債となっている。過疎債に変更した理由は何か。</p> <p>(3) 事業内容を見ると、本来は行政でやるべきこと、地域で行うべきことを棲み分けすべきではないか。すべてを運営体に任せるには、無理があると考えますが如何か。</p> <p>(4) 地域に根ざしている、お互いに助け合う互助の精神が失われるのではないか。また、無関心を招くのではないかと心配しているが、どう思われているのか。</p> <p>2、 田沢湖再生クニマス里帰りプロジェクト（仮称）（あきた未来づくりプロジェクト）事業について伺う。</p> <p>(1) 田沢湖再生シンボル拠点（田沢湖クニマス史料館）を新築整備しなければならない理由は何か。現在ある歴史資料館を工夫することにより、利用することは出来なかったのか。その理由は何か。</p> <p>(2) 田沢湖畔賑わい創造プロジェクト事業（観光拠点トライアングル構想推進）観光客招致活動を展開することにより、何百万人を目標とするのか。毎年、足を運んでくれるお客さんの見込みは。</p> <p>(3) 「田沢湖に生命を育む会」の地元有志の皆さん方は、田沢湖再生に係る事業展開として、史料館の新築を本当に望んでいるのか疑問に感じる。目的は違うのではないか。</p>			
<p>上記のとおり通告します。</p>			

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 12番 安藤 武

平成 25年 8月 19日
午前・午後 4時53分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>市長の施政について問う</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 任期中に公約を実現できない場合は「政治的責任をとる」とした市長の公約は今も生きているのか。 2. 地元経済状況から目をそらすことなく、責任を持って雇用対策に取り組めるか。 3. 地域防災計画の抜本的見直しと、危険集落と自主防災をたちあげた集落に雨量計の設置を急ぐべき。 4. 観光協会を一体化して売り出す観光戦略に切りかえるべきと思うがどうか。 			
上記のとおり通告します。			

番 号 7

平成25年 8月19日

仙北市議会議長 佐藤 峯夫 様

仙北市議会議員 20番 稲田 修

平成25年 8月 19日

午前・午後 9時45分 受領

発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1 門脇市政の問題点を問う</p> <p>(1) 医療局の新設は医療改革に寄与しているのか？</p> <p>(2) 総合産業研究所の新設と農業振興策は？</p> <p>(3) 木質バイオマスの所期の目的と達成度合いは？</p> <p>2 教育問題について</p> <p>生徒数の減少と教育環境はどうあるべきか？</p>		
上記のとおり通告します。		